

平成28年度 松江市の財務諸表（一般会計等）

貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを対照表示したもの

借方（現在有する資産）	貸方（資産の調達財源）
【資産の部】（将来の世に残る財産の金額）	【負債の部】（将来の世代が負担する金額）
1 有形固定資産 （道路、公園、学校、庁舎等） 3,304億84百万円	1 固定負債 （地方債や将来の職員の退職金等） 1,235億77百万円
2 無形固定資産 （ソフトウェア等） 8億82百万円	2 流動負債 （地方債翌年度償還額、賞与引当金等） 142億44百万円
3 投資等 （基金、貸付金、出資金等） 148億88百万円	負債合計 1,378億21百万円
4 流動資産 （現金預金、財政調整基金、市税未収金等） 95億65百万円	【純資産の部】（これまでの世代が負担した金額）
うち、現金預金 19億97百万円	純資産合計 2,179億98百万円
資産合計 3,558億19百万円	負債・純資産合計 3,558億19百万円

資金収支計算書

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高 10億97百万円
本年度資金収支額 2億61百万円
1 業務活動収支 （税収、補助金支出、職員給与等） 72億02百万円
2 投資活動収支 （公共資産整備支出、基金積立等） △24億91百万円
3 財務活動収支 （地方債の借入、地方債の償還） △44億50百万円
本年度末資金残高A 13億58百万円
前年度末歳計外現金残高 6億85百万円
本年度歳計外現金増減額 △46百万円
本年度歳計外現金残高B 6億39百万円
本年度末現金預金残高（A+B） 19億97百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高 2,204億72百万円
当期変動額 △24億74百万円
純行政コスト（▲） △825億76百万円
1 財源 （市税、地方交付税、国県補助金等） 798億08百万円
2 その他 （資産評価差額、無償所管換等） 2億94百万円
期末純資産残高 2,179億98百万円

行政コスト計算書

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】A 854億65百万円
1 業務費用 （人件費、物件費、その他の業務費用） 422億15百万円
2 移転費用 （補助金等、社会保険給付、他会計繰出等） 432億50百万円
【経常収益】B 44億06百万円
1 使用料及び手数料 24億22百万円
2 その他 19億84百万円
純経常行政コストC（A-B） 810億59百万円
1 臨時損失D 16億90百万円
2 臨時利益E 1億73百万円
純行政コスト（C+D-E） 825億76百万円

【4表の相互関係】

- ① 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- ② 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ③ 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

（平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口203,716人にに基づき算出）

- 資産 174万7千円
- 負債 67万7千円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- 将来の世代の負担率 36.48%

●公共施設等の資産老朽化率 57.2%

基礎的財政収支（プライマリーバランス）は自らの財源で運営できているか

- 59億59百万円の黒字

基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

業務活動収支	72億02百万円
支払利息支出	12億48百万円
投資活動収支	△24億91百万円
基礎的財政収支	59億59百万円

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・一般会計
- ・公園墓地事業特別会計